

令和6年度 FD・SD ウィークの実施結果について（報告）

高知大学学び創造センター

1. FD・SD ウィークの趣旨と目標

【趣旨】

本学の教育の質を高めるため、各学部3～5授業程度を選んで公開授業とし、教員間で公開授業を相互参観する。これによって、

- (1) 授業参観を通じて、参観する側の教員が授業についての内省を通じた教育改善を図る。
- (2) 授業を公開する側の教員が、授業改善に資するフィードバックを得る。
- (3) オンライン授業に関するFDを兼ねるものとする。

また、公開授業は職員の参観も受け入れることとし、職員が本学の教育の一端に触れる機会を提供することで、教職協働の促進を図る。

【目標】

(1) 授業参観教員

参観した授業から得られた気づきや新たな教授方法などを参観者が内省し、自らの授業改善・教育改善に活かしていく。

(2) 授業公開教員

参観者から得たフィードバックを、次年度以降の授業改善に活かしていく。

(3) 職員

公開授業を参観することで、本学が行う教育の一端に触れ、その経験を日常の業務に反映させていく。

2. 実施期間と開講科目数

期 間：令和6年10月24日（木）～令和6年12月19日（木）

科目数：38科目（延べ130回開講 ※非同期のオンライン授業は1回として集計）

3. 参加者数（参観申込者数、授業参観記録登録者数）

本年度のFD・SDウィークの授業参観は、Webページ上の集計で教職員合わせて延べ100人（教員39人、職員61人）の申し込みがあり、参観後の授業参観記録登録者数は延べ89人（教員37人、職員52人）であった。（昨年度実績：申込者78人（教員55人、職員23人）、授業参観記録登録者66人（教員45人、職員21人））

科目ごとの参観申込者数及びコメント登録者数（延べ人数）

No.	時間割コード	科目名	授業形態	参観申込者数			コメント登録者数		
				教員	職員	計	教員	職員	計
1	01905	学問基礎論（医学科）	対面	0	11	11	0	9	9
2	02003	ガムラン演奏基礎演習	対面	1	4	5	1	3	4
3	03021	高知の中小企業を知る	対面	1	2	3	1	1	2
4	07006	プロフェッショナルコミュニケーションのための英語	対面	2	0	2	2	0	2
5	07007	International Media and Journalism	対面	1	0	1	1	0	1
6	07031	キャリア戦略立案入門～高知の中核人材から学ぶ～	対面	3	6	9	3	5	8
7	07105	キャリアで活かす IT リテラシー	オンライン非同期	5	12	17	4	9	13
8	26183	日本文学史論 II	対面	2	2	4	2	2	4
9	41022	初等英語	対面	1	1	2	1	1	2
10	41127	幼児教育指導計画論	対面	1	1	2	1	1	2
11	42503	日本画基礎	対面	0	3	3	0	3	3
12	42601	スポーツ運動学	対面	0	2	2	0	2	2
13	42635	個人スポーツ実技[体づくり運動]	対面	1	0	1	1	0	1
14	42902	文法論	対面	0	1	1	0	1	1
15	43021	中等理科指導法IV	対面	1	0	1	1	0	1
16	44458	知的障害教育課程論	対面	2	1	3	2	1	3
17	51347	臨床推論学	対面	1	2	3	1	2	3
18	52206	在宅看護学概論	対面	1	6	7	1	6	7
19	60018	質的調査法	対面	1	0	1	1	0	1
20	60054	六次産業化論	対面	0	5	5	0	5	5
21	71114	位相空間論	対面	1	0	1	1	0	1
22	71614	物性科学序論	対面	2	0	2	2	0	2
23	72138	計算論	対面	3	0	3	2	0	2
24	73119	分子生理学	オンライン非同期	3	1	4	3	0	3
25	74127	無機化学演習	オンライン非同期	1	0	1	1	0	1
26	77117	気象学	対面	2	0	2	2	0	2
27	81311	作物学	対面	1	0	1	1	0	1
28	82029	有機化学	対面	0	1	1	0	1	1
29	83119	環境微生物工学	対面	1	0	1	1	0	1
30	83211	同位体地球化学	対面	1	0	1	1	0	1
計				39	61	100	37	52	89

参考：令和5年度 55 23 78 45 21 66
(38科目、延べ96回公開)

4. 授業参観記録

授業参観後に、参観者が Web 上で授業参観記録を作成した。その質問項目（記述コメントおよび選択回答）と回答の要旨を以下に示す。

【教員】

（１）参観した授業について、教員の授業方法や学生の学習形態等について、特に印象に残ったことはどんなことですか。（自由記述式）

多様な授業が公開されており、参観者は参観した授業に応じて多彩な観点の気づきを得ていた。例を挙げると、学生が学びやすく講義内容を学生の記憶に留めることが考慮された授業構成、グループワークを通じて学生同士の学びを高める授業、外部ゲストの講話を元に考えを深める授業、対面授業でのオンラインツールの使い方、非同期型オンライン授業の特長を活かした授業構成などが、印象に残ったこととして挙げられていた。

（２）授業を参観して、あなたが実施している授業方法や学生の学習形態等についてあらたに気づいたことはどんなことですか。（自由記述式）

参観した授業に対比させて、参観者が担当する授業で改善できるポイントを挙げるコメントが多く見られた。一方で、授業の目的や形態の違いにより、参観での気づきが、担当する授業でそのままでは活かせないというコメントが複数寄せられていた。また、学生の受講態度に関するコメントが複数寄せられていた点が印象的であった。

（３）参観した授業での授業方法や学生の学習形態等で、自分の授業にも取り入れてみたい、あなたの授業に取り入れることが可能だと思うことはどんなことですか。（自由記述式）

学生への声掛けなど、学生の授業へのエンゲージメントを高める仕掛け、ノートの作成・板書の活用・音読などのアナログで学生の活動を促すタスクの採用、オンラインツールの活用、一部の授業回の非同期型オンライン授業での実施など、参観した授業に刺激を受けた改善案が多く挙げられていた。

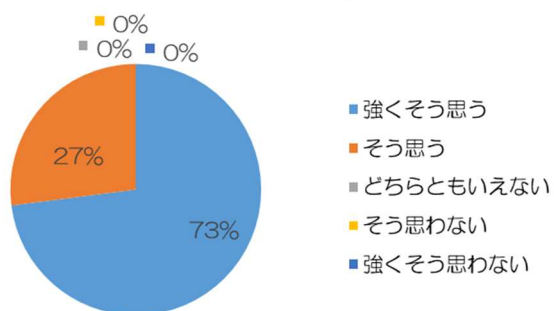
（４）参観した授業の授業方法や学習形態について、授業担当者へのコメントがあれば書いてください。（自由記述式）

参観者の得られた気づきに対する授業担当教員への謝意が多くコメントされていた。さらに、参観した授業に対する改善の提案や、参観した授業の手法を自分の授業に取り入れることを想定した際に懸念される課題についての言及も見られた。また、参観者の専門が参観授業に近い場合は、授業内容や教授法に関する詳細なコメントも寄せられていた。

（５）この取組は、あなたの授業改善や教員としての意識改革に役立つものでしたか。（５段階択一式）

肯定的な回答が 100%となっており、本取組は、意識改革に役立つものであったことが読み取れる。

（５）この取組は、あなたの授業改善や教員としての意識改革に役立つものでしたか。



	度数	割合
強くそう思う	27	73
そう思う	10	27
どちらともいえない	0	0
そう思わない	0	0
強くそう思わない	0	0
合計	37	100

【職員】

(1) 参観した授業で、講義の教育方法や学習形態等について、特に印象に残ったことはどのようなことですか。(自由記述式)

グループワークやディスカッションなどの学生の主体的な学びを促す授業形態や、ノート PC・オンラインツールの活用等への言及が多かった。職員が学生として受講した授業との違いが印象に残った参観者が多かったことと推察される。また、授業を魅力的なものとしている教員の姿勢や発言への言及も複数見られた点が印象的であった。

(2) 参観した授業で、学生の様子について気がついたことはどのようなことですか。
(オンライン授業を参観された方は回答不要です)

ノート PC を開いて受講する学生の多さに言及するコメントが最も多く見られた。それに伴い、授業に関係ないことをしている学生やコンセント不足に関するコメントも見られた。全体的に真面目に静かに受講する学生が多いというコメントが多数見られた。学生の授業に取り組む態度については、全般的には好意的に受け取られていたが、一部の学生の不真面目な態度への言及も見られた。

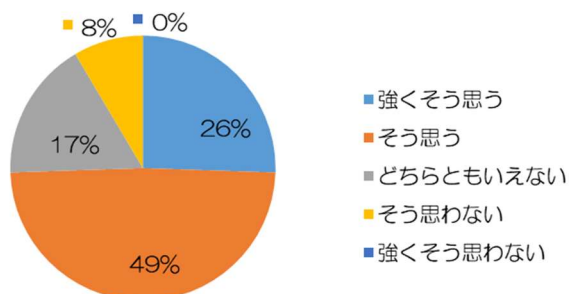
(3) 参観した授業について、授業担当者へのコメントがあれば書いてください。(自由記述式)

教員の学生に対する姿勢や、学生が授業に取り組む様子を参観することで、参加者が高知大学で行われている教育に理解を深めている様子が確認できた。

(4) 参観が行われた教室の環境の整備や設備について、学習に適していると思いませんか。
(オンライン授業を参観された方は回答不要です) (5段階択一式)

75%が肯定的な回答であった。一昨年度の 87%、昨年度の 82%から低下傾向が続いている。

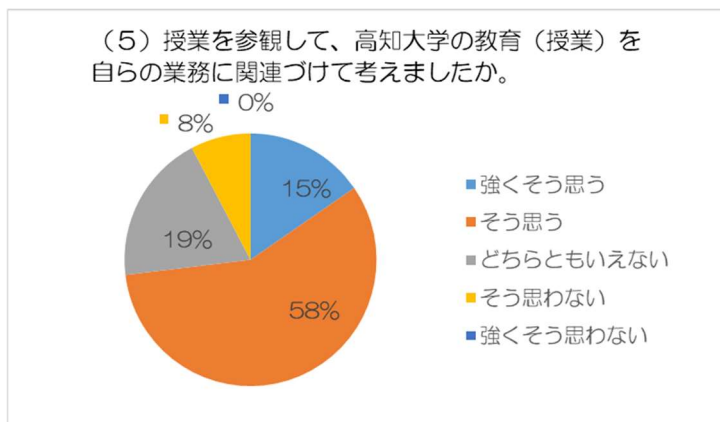
(4) 参観が行われた教室の環境の整備や設備について、学修に適していると思いませんか。



	度数	割合
強くそう思う	12	26
そう思う	23	49
どちらともいえない	8	17
そう思わない	4	9
強くそう思わない	0	0
	47	100

(5) 授業を参観して、高知大学の教育（授業）を自らの業務に関連づけて考えましたか。（5段階択一式）

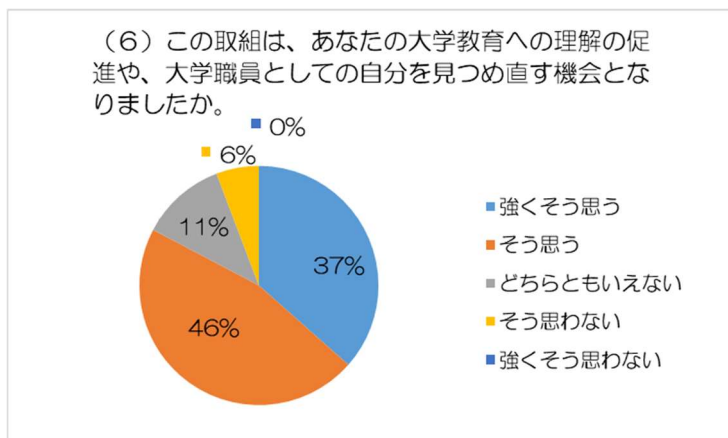
肯定的回答は73%だった。全般的には、授業参観が参観した職員の業務にも資するものであると言える一方、昨年度の95%と比較すると、やや大きな減少が確認された。



	度数	割合
強くそう思う	8	15
そう思う	30	58
どちらともいえない	10	19
そう思わない	4	8
強くそう思わない	0	0
	52	100

(6) この取組はあなたの大学教育への理解の促進や、大学職員としての自分を見つめ直す機会となりましたか。（5段階択一式）

肯定的回答は83%であり、授業参観が大学職員として業務を行う上で有意義であったことが窺える。



	度数	割合
強くそう思う	19	37
そう思う	24	46
どちらともいえない	6	12
そう思わない	3	6
強くそう思わない	0	0
	52	100

(7) (4)～(6)の回答の理由や、来年度の本取組の実施に向けての忌憚のないご意見・ご要望をお聞かせください。（自由記述式）

高知大学の授業での教員や学生の活動について、理解が深まったとのコメントが多く見られた。また、設備や教室環境が万全でないことに関するコメントが多く寄せられていた。加えて、職員研修としての効果に関する質問、効果的なSDとするための提案、職員として参観可能な授業の少なさ、病院業務端末から参観登録・参観記録が不可であることに対するコメントが挙げられていた。

5. 成果について

参観後のアンケート調査の結果から、本取組の趣旨や目標に対する成果として、次のようにまとめられる。

【授業参観教員】

授業参観記録では、「あなたの授業改善や教員としての意識改革に役立つものでしたか」という設問に対し、全員が肯定的に回答しており、本取組は一定の効果を得ることができていると捉えることができる。参観記録のコメントからは、授業参観が参加者自身の授業を見直す機会となり、参観した授業での、学生が学びやすく講義内容を学生の記憶に留めることが考慮された授業構成、グループワークを通じて学生同士の学びを高める授業、対面授業でのオンラインツールの使い方、非同期型オンライン授業の特長を活かした授業構成等の工夫が言及されており、本取組が直接あるいは間接的に、授業改善につながっていくことが示唆される。

一方で、参観申込者数が昨年度と比較して約7割に減少しており、本取組を現在の高知大学の環境に応じたより有意義なものとしていくため、実施方法等の検討が必要と感じられる。

【職員】

授業参観記録では、「あなたの大学教育への理解の促進や、大学職員としての自分を見つめ直す機会となりましたか。」という設問に対し、83%の肯定的な回答を得ており、本取組は一定の成果を得られたと捉えることができる。参観記録のコメントからは、グループワークやディスカッションなどの学生の主体的な学びを促す授業形態や、ノートPC・オンラインツールの活用、といった大学教育の変化や、真面目で静かな学生が多くなっている高知大学生への理解を深める機会となっていることが読み取れる。

職員の参観申込者数は昨年度と比較して3倍近くに増加した一方、「授業を参観して、高知大学の教育（授業）を自らの業務に関連づけて考えましたか。」という設問に対して22%の減少が見られたことや、参観記録のコメントにSDとしての効果的な実施に関する提案が複数寄せられたことを考慮すると、職員研修としての授業参観の目的を再確認し、受講者にその目的を意識した参観を求めるなどの工夫が有効と考えられる。